

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）事後評価結果表

大 学 名	筑波大学
整理番号	B-II-1
事 業 名	人社系グローバル人材養成のための東アジア・欧州協働教育推進プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A⁻</div>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を概ね満たしており、事業目的は実現された。
(コメント) <p>交流プログラムの枠組みについては、学士・修士・博士3課程の取組に一貫性を持たせようと努力しているものの、3つのプログラムが統一的に機能するための一体的な枠組や体制が十分構築されるまでには至っていない。しかしながら、個々のプログラムにおいては、ECTSの活用や多様なメディアの利用等により、十分な質の維持向上が達成された。</p> <p>外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備については、適切に進められたと評価できる。</p> <p>事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及については、それぞれの交流プログラムが大学の国際化に貢献しており、情報の発信がされているが、個別のプログラムごとに行われているため、全学的に取り組むことが望まれる。</p> <p>目標の達成状況については、学生の交流数の面ではほぼ計画どおりに達成された。一定の外国語力スタンダードについては、目標スコアを下げるなど、当初の理念を十分に実現するには至らなかった点があるため、英語力向上のための一層の努力が望まれる。</p> <p>全体として、本事業は意欲的な理念に基づいてはいるが、各部局の取組を一つの構想下で、同時並行的に実施しているように見受けられる。今後、我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に大きく貢献するには、大学本部の主導の下、より一貫した取組に発展させることが望まれる。</p>	